



ジャパントラストかわら版
情熱羅針盤

ご存知のとおり、アメリカ西海岸は歴史上、最悪の混雑状況になっております。(掲載写真は、この原稿を執筆している2月上旬の状況です) 混雑の一番大きな原因は、アメリカ西海岸の港湾労働者の組合員(ILWU)が作業 Slow Down を行っているためです。

今回は少し、その組合員についての裏話を話したいと思います。以下、私的で過激な表現を含むかも知れませんがご容赦願います。現状は、経営者側(PMA)と港湾労働者である組合員側(ILWU)の契約が昨年7月に切れて、いまだ新契約に向けて交渉状態であり、組合員側がよりよい待遇を獲得するために、Slow Down という戦術をとっています。組合員の給与および年金、保険なども含めて、現在の組合員一人が享受する平均金額は年間20万ドルを超えているという試算があります。年間20万ドルです。それだけ享受しているにもかかわらず、さらにもっと欲しいと交渉をしています…。ちなみに、アメリカ人の平均年収は4万ドル程度です。このような状況ゆえ、組合員の交渉は、一般アメリカ人からはまったく支持されていないどころか、ものすごく批判的に受け取られています。そもそも港湾労働者というのは、実は誰でもなれるものではありません。いわゆる特権階級で、もともとの港湾労働者である親から子へ継がれるようなシステムで、一般人には門戸を開いていないのです。いわば、ものすごくおいしい仕事(条件)を、他人に渡してなるものかということです。

「自由の国アメリカ」というイメージからは真逆ですね。結果、現在は組合員とは関係のない、あらゆる関係者(貿易をしているお客様、また弊社のような輸送業者!)をものすごく困らせている事態に陥っています。事実、この混雑に対応するための時間、コストが膨大にかかっており、我々にメリットはまったくありません!

しかしながら、こういう非常事態にこそ、輸送業者の真価が問われると思われ社員一同、(組合員への怒りを押し殺しながら..)より柔軟で素早い対応を心がけて、日々ハードワークしています。

この記事が配信される頃には、状況が良くなっていることを本当に願ってやみません!

Great Luck (北米現地法人): 神谷 隆

※補足説明: 2/20に労使交渉が暫定合意致しましたが、正常化までは3ヵ月はかかるだろうとの予測です。



ジャパトラウーマンのぼやき



初めまして。ドキュメントチームの出水沢麻貴(いずみさわまき)です。主にBLの作成や発行を担当しています。

以前は歯科助手として働いておりましたが、貿易に携わる仕事がしたいという夢を諦めきれず、縁あってジャパントラストで働くことになりました。

趣味は海外旅行で、去年はトルコに行き、気球から日の出をみるという貴重な体験をしてきました。

近い将来、ニューヨークのタイムズスクエアのカウントダウンに参加したいと考えています。

社会人経験も浅くまだまだ未熟ですが、貿易知識を深めて少しでもお客様のお役に立てるよう、日々成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

名古屋ドキュメントチーム: 出水沢 麻紀